

# 感染症 ひとくち情報

## 咽頭結膜熱が流行しています

2017年6月16日  
東京都健康安全研究センター

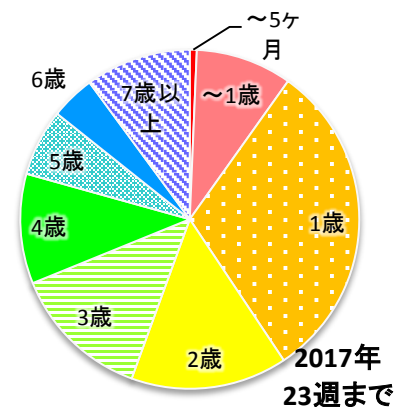
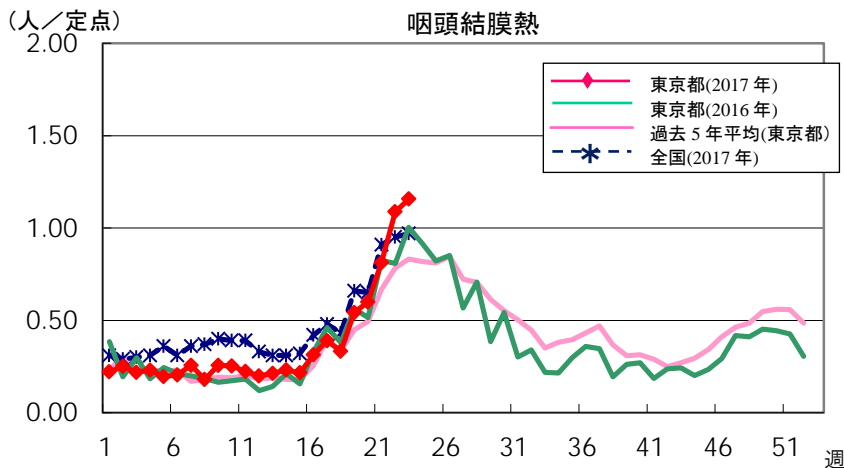
### 1 咽頭結膜熱（プール熱）とは？

アデノウイルスによる感染症で、例年、5月から7月にかけて流行し、過去にプールを介して感染が広がったことがあることから「プール熱」と呼ばれています。39℃前後の発熱、咽頭炎、結膜炎が主な症状で、1週間程度でおさまります。

治療はそれぞれの症状に対する対症療法が中心になります。結膜炎が強い場合は眼科での治療が必要になります。

### 2 現在の流行状況（6月11日まで）

都内の小児科定点医療機関<sup>\*1</sup>から、6月5日～6月11日（第23週）に報告された患者数は定点あたり1.16人となり過去10年で最も多くなっています。



<sup>\*1</sup> 定点医療機関：流行性疾患の受診患者数を定期的に報告するよう都が指定した医療機関

\* 0～6歳の報告数が全体の約9割を占めています。

### 3 予防のポイント

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに触れることによって感染（飛まつ・接触感染）するので、手洗い、うがい、咳エチケット等の予防対策を行うことが大切になります。

プールや温泉施設を利用する際は、前後にシャワーを必ず浴び、タオルは個別にし、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。



\* 都内の咽頭結膜熱の検出状況や、今年の流行状況については、東京都感染症情報センターの「咽頭結膜熱」のページをご参照ください。

咽頭結膜熱 東京都 [検索](#)

